

## 平成 29 年度 長寿科学研究開発事業における

### 事後評価の結果について

#### 【事業概要】

本事業では、高齢者の介護予防や要介護度の重症化予防、健康保持などに向けた取組を一層推進するため、高齢者に特徴的な疾病・病態等に着目し、それらの予防・早期診断・治療・介入プログラムや標準的ケアの確立に向けた研究を推進している。

#### 【評価方法】

長寿・障害総合研究事業課題評価委員会設置要綱に基づき、「長寿科学研究開発事業 研究開発課題 事後評価委員会」を設置し、平成 29 年度終了予定研究開発課題に対し、書面ならびにヒアリング審査を行うことにより、委員会としての評価結果を確定した。

#### 【評価結果】

2 課題について事後評価を行った。

##### (事後評価対象課題 1)

課題名：地域づくりによる介護予防を推進するための研究

研究期間：平成 27-29 年

代表者氏名：近藤克則

所属・役職：千葉大学 予防医学センター 教授

評価結果：優れている

評価コメント：

研究開発全体の目標について一定の成果が報告されている。

介護予防の地域における実践のために、活動主体であるボランティアの育成や取り組み評価のための手法の開発などが行われている。

##### (事後評価対象課題 2)

課題名：高齢者の多剤処方見直しのための医師・薬剤師連携ガイド作成に関する研究

研究期間：平成 28-29 年

代表者氏名：秋下雅弘

所属・役職：東京大学医学部附属病院 老年病科 教授

評価結果：優れている

評価コメント：

・多剤・不適切処方の実態調査と連携モデルの構築、医師・薬剤師連携ガイドの作成、一般向け啓発パンフレットの作成について着実に成果を得ている。一般向け啓発パンフレットは前倒しで平成 28 年度に作成・配布され、予定された課題は完了している。

【事後評価委員会日程】

(書面審査) 平成 29 年 11 月 20 日 (月) ~12 月 6 日 (水)

(ヒアリング審査)平成 29 年 12 月 15 日 (金)

【評価項目】

- ①研究開発達成状況
- ②研究開発成果
- ③実施体制
- ④今後の見通し
- ⑤事業で定める項目及び総合的に勘案すべき項目
- ⑥総合評価

【課題評価委員】

氏名	所属・職名
玉腰 暁子	北海道大学大学院医学研究院 社会医学分野 公衆衛生学教室
◎中村 利孝	東都三軒茶屋リハビリテーション病院
徳田 治彦	国立長寿医療研究センター
吉村 健清	(一財) 救急救命九州研修所
井上 智貴	群馬大学医学部附属病院リハビリテーション科
永井 久美子	杏林大学
田高 悦子	横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野
鷲見 幸彦	国立長寿医療研究センター
飯島 節	国立障害者リハビリテーションセンター

◎委員長